

令和5年度第2回静岡市商業振興審議会 会議録

- 1 日 時 令和5年12月18日(月) 15:00~17:00
- 2 場 所 静岡市産学交流センター B-nest 演習室3
- 3 出席者 [委員] 岩崎会長、池谷委員、石川委員、上西委員、鈴木委員、中村委員、橋本委員、前田委員、牧野委員、村井委員、山梨委員、山本委員  
(委員は五十音順)  
[アドバイザー] 上山氏  
[事務局] 経済局 金丸局次長  
商業労政課 平尾課長、横田係長、藤原主査、渡部主任主事  
都市局 大谷・小鹿まちづくり推進課 原田主査
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 題 (1) 今後の商業振興施策について  
(2) 静岡市良好な商業環境の形成に関する条例・指針について  
(3) クルーズ船の寄港を活かした活性化策について
- 6 会議内容(要旨)  
＜次第1 開会＞  
  
＜次第2 金丸経済局次長あいさつ＞  
  
＜次第3 審議会について＞  
資料1により、審議会の論点を整理。  
  
＜次第4 議事＞  
議事1 「今後の商業振興施策について」  
【牧野委員】  
講演「個店の創業・成長について」  
(主に資金調達、商品開発、顧客獲得、人材確保の面からのお話)  
  
【事務局(横田係長)】  
資料2により、静岡市の個店支援施策を説明。

**【岩崎会長】**

- ・牧野さんのお話を聞いて素晴らしいと思ったのは、常に創意工夫・挑戦をしているところ。他と同じことをしているだけではなかなかうまくいかない。

**【鈴木委員】**

- ・今年度、大学生によるお店コンサルティング事業に学生として参加し、SNSによる情報発信強化などに取り組んだ。結果として、一定の集客効果があった。
- ・SNSに関する知識が薄い事業者も多いため、行政としてもっと幅広い支援策があったらよいと思う。

**【上山アドバイザー】**

- ・牧野委員に、どのような行政の支援策があったらよいと考えるか、あるいは、あつて良かったかをお聞きしたい。

**【牧野委員】**

- ・事務局の説明にあったチャレンジショップ出店事業補助金の上限は90万円だが、もっと増やしていただくとありがたい。予算の都合があるのはわかるが、出店にあたっての工事にはかなりの額がかかる。
- ・市は、支援策等の情報発信にもっと力をいれるべき。

**【事務局（横田係長）】**

- ・チャレンジショップ出店事業補助金に関しては、中心市街地に特色のあるお店を出店していただくことで、中心市街地の魅力向上にも波及効果があるものと考えている。牧野委員からご指摘のあった金額については、改装費や静岡エリアの家賃等を踏まえると、よく検討しなければならないと考えている。

**【山梨委員】**

- ・個店への直接の支援策では、必要としている事業者になかなか届かなかつたり、すぐ閉店したりしてしまうこともあると思う。
- ・デベロッパーならば事業者への情報発信もしやすく、ある程度フィルターを通して事業者を見ることが出来るため、デベロッパーへの支援策があってもよいのではないか。

**【上西委員】**

- ・大型店への出店にハードルがあるのは事実だが、我々も地域のお店と連携・協力していきたいと考えている。その点、中間業者への支援は有効だと思う。

#### 【山本委員】

- ・牧野さんの講演の中で人材確保についてのお話があったが、特に創業時は、お店の名前も知られていないため、人材確保はなかなか難しい。また、高校生は校則でアルバイトが難しいところもある。
- ・創業間もないお店にも学生が働きに行きやすくなるよう、大学生コンサルティング事業やインターンシップに近い施策ができれば、お店への支援にもなるし、学生のためにもなるのではないか。

#### 【石川委員】

- ・商工会議所では経営支援をやっているが、なかなか上手くいかないところがある。現在、創造舎さんが手掛けている人宿町や丸子のエリアは活性化している。個店への直接支援だけでなく、まちづくりの観点からの支援も必要である。

#### 【岩崎会長】

- ・創造舎さん等の先進的な事例は、行政からも積極的に発信していただきたい。

#### 【村井委員】

- ・大学のゼミで、草薙商店会と連携して店舗のデザインに取り組んでいるが、なかなか難しいところがある。
- ・学生のアルバイト人材確保については、将来を見据えたキャリア形成等の視点も取り入れて、何か支援ができたらいと思う。自分の周りの学生を見ると、積極的に働こうという考えが弱く、アルバイトはなるべく楽な仕事を選ぶ傾向にある。

#### 【岩崎会長】

- ・大コン事業は参加店舗が毎年4店舗と限られているが、外部からも参加可能な成果発表会を開催したり、取組事例のパンフレットを配布したりすることで、参加店舗以外にも取組内容を参考にさせていただいている。
- ・大コン事業もそうだが、小さくても継続が大切だと思っている。例えば、今年度の取組みでは、ピンポイントではあるが、参加店舗が異業種の他店舗と連携したものがあつた。

#### 【上西委員】

- ・SNSに関して、当店でもアカウントをカテゴリ別にいくつか持っている。これを活かして、地域のお店とも連携したいと考えているが、ステルスマーケティングにならないようにしないといけないなど、運用には色々気を付けないといけない点がある。
- ・行政から、店舗の連携のための出会いの機会を提供していただけると助かる。

## 議事2「静岡市良好な商業環境の形成に関する条例・指針について」

### 【事務局（横田係長）】

資料3により、宮川・水上地区のゾーニングについて説明。

### 【上山アドバイザー】

- ・そもそもゾーニングとは何かというと、エリアを用途別にまとめて、効率的に集約・配置させるもの。事務局の説明の中で用途地域の話があったが、これは都市計画法におけるゾーニング。その中で、宮川・水上地区については、比較的色々な施設を建てられる準工業地域となる予定という説明をしてもらった。
- ・皆様には、そういった前提を踏まえて、望ましい商業についてお考えいただきたいが、長期的に考えると、ふさわしくない商業はどんなものかについても考えてみてほしい。
- ・また、「魅力」といっても、例えば景観であったり、あるいはコミュニティとしての魅力であったりと、人によって様々であるため、皆様それぞれお考えいただきたい。

### 【岩崎会長】

- ・この審議会は、ゾーニングを決定する場ではないため、皆様からは率直なご意見を頂きたい。

### 【池谷委員】

- ・前回もお話があった「静岡らしさ」については、軸としてぶれずに持っておいてほしい。そこにしかないものがあれば、付加価値が付きやすい。

### 【橋本委員】

- ・市外、県外から集客できるようにすることが重要。静岡らしさというと、お茶やみかんを思い浮かべる人が多いと思うが、その他の要素をもっと発信できるとよい。
- ・スポーツ施設等ができるのであれば、そこを目的に来た人たちに買い物してもらえるような店舗が必要。

### 【鈴木委員】

- ・高速道路のインターチェンジに近いということで、客層としては、自動車で来るような家族連れが多いはず。そういった層が楽しめるような商業が望ましい。

### 【前田委員】

- ・地域住民のお買い物というよりは、外から集客できる商業ということに重点を置いて、ゾーニングを検討してほしい。
- ・ただし、既存の中心市街地とバッティングしないようにすることも重要。

**【牧野委員】**

- ・将来のことを考えるならば、静岡らしさよりも「国内初」のほうがよいのではないか。

**【岩崎会長】**

- ・一般的な静岡らしさだけでどれだけ人が来るかという考えもあるだろう。
- ・国内初のものが新しい静岡らしさになるかもしれない。

**【山本委員】**

- ・魅力あるエリアにするための個性・尖りと、住む人への配慮等のバランスが重要。ただ、中途半端になってもいけないため、そこはなかなか難しいところ。

**【村井委員】**

- ・今後、リニア新幹線が開通することで、静岡は通過されるまちになってしまうおそれがある。
- ・U S J をV字回復させた方が、今度は沖縄のテーマパークを手がけるということで、先日ニュースになっていたが、そういったものはできないのか。

**【上西委員】**

- ・宮川・水上地区は約 47ha で、テーマパークを作るには狭い。そういった事情もあり、商業やエンタメ、スポーツ等の機能を色々入れていくことになったのだと思うが、色々な機能・施設があるというのは、かえって中途半端になりやすい。
- ・国内に限らず、海外から集客できるようにするには、機能のある程度絞る必要があるのではないか。

**【石川委員】**

- ・用途地域は準工業地域となる予定ということで、静岡市の場合は延床面積 1 万㎡までという制限がかかるため、あまり大きなものは建てられないだろう。
- ・どのような商業がふさわしいのかについて、スポーツやエンターテイメントなど、そういった魅力あるものが先にあって、商業はそれらに付随していくものだと考える。
- ・市外県外からの誘客により、中心市街地にも人が来るようになればよいと思う。

**【中村委員】**

- ・周辺の商業への影響を考えると、あまりに大きな商業施設ができてしまうと、地域のお店が影響を受け、将来的に買い物難民の発生が懸念される。
- ・社会情勢の変化を踏まえると、環境やエネルギー、農業の要素を取り入れた施設がある

とよい。

**【山梨委員】**

- ・高速道路で県外から集客することを考えると、NEXCOと連携して、割引等のサービスができればよい。
- ・集客施設と居住区がうまく調和したまちづくりが必要。

**【岩崎会長】**

- ・審議会として1つの意見にまとめるわけではなく、今回皆さんから頂いたご意見を踏まえながら、市がゾーニング案を考え、次回の審議会で提示してもらうこととなる。

**【上山アドバイザー】**

- ・議論の中にあつたように、静岡らしさといっても、その人の年代や、市民か市外・県外の人かによっても異なる。意味が1つではないことを押さえたうえで、そのあたりの整理もお願いしたい。

議事3 「クルーズ船の寄港を活かした活性化策について」

**【事務局（横田係長）】**

資料4により、施策の検討状況を説明。

**【石川委員】**

- ・クルーズ船客に対しての話になってしまうが、通訳ボランティアが足りないという話を聞く。大学の単位や表彰のような優遇措置があれば、学生のボランティアがもっと集まるのではないか。

**【中村委員】**

- ・クルーズ船客に対して、行政からプッシュ型の情報発信はできないのか。

**【事務局（横田係長）】**

- ・旅行会社を通さないとなかなか難しいため、そういった情報発信は現状できていない。

**【山梨委員】**

- ・清水は民間投資が進んできているため、もっと企業を活かすべき。個店や商店街単体ではどうしても限界がある。クルーズ船関連の取組みで言えば、例えば、缶詰の企業と商店街のコラボ等が考えられる。

- ・山梨、長野からの誘客という点では、宮川・水上地区と同じで、NEXCOと連携した施策やサービスができるとよい。

**【上西委員】**

- ・このテーマについても、誘客のターゲットは絞るべきだと考える。

<次第5 事務連絡>

<次第6 閉会>